

年 組 () 名前

サイン



◆ 7月の熊本地震からの復興を願って熊本県
玉名市でイベントが行われました。

復興願う大輪

玉名市の菊池川河川敷で3日、「玉名花火大会」が開かれ、計1万1発の花火が夜空を彩った一写真。

県内では7月の熊本地震の影響で、花火大会の開催が見送られた例もある。主催した大会実行委員

会によると、慎重に検討し「熊本を花火で少しでも元気づけたい」と予定通りの開催を決めたという。今年は「支えあおう熊本」をテーマに、震災からの復興を願う大会に位置づけた。

(2026年10月5日 読売新聞熊本版より)

※先生やおうちの人と
いっしょによみましょう。

【1】写っているのはなんですか。

【2】空に見える知っている物をたくさん書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



◆ながさきし すわ
長崎市の諏訪神社の大祭「長崎くんち」で、
山車を投げ上げる演目が10年ぶりに披露
えんもく
されました。

(2026年10月7日
読売新聞夕刊より)

【1】見出しの
○○○○○○
部分に入る言
葉を、記事の
中から抜き出
し、書き入れ
ましょう。

て10年ぶりに披露し、写真、富田大介
撮影、会場にはアンコールを意味す
る「モッテコイ」の歓声が響いた。
9日までの期間中、市中心部で演し
物が披露される。

山車投げ上げ ○○○○○○○ 長崎くんち

江戸時代から約400年
続く長崎の秋の風物詩「長
崎くんち」が7日、長崎市
の諏訪神社で始まった。大
勢の観客が見守る中、六つ
の踊町が「龍踊」や「船
回し」などの演し物を奉納
した。

長崎くんちは諏訪神社の
秋の大祭で、「奉納踊」は
国の重要無形民俗文化財に
指定されている。今年は市
内に約50ある踊町のうち、
六つの町が出演。上町は、
担ぎ手が威勢の良いかけ声
とともに約1トの山車を投
げ上げ、片手で受け止める
演目「上町コッコデショ」
をコロナ禍などの中止を経

はってん
【発展問題】あなたの地域の秋祭りについて、その由来も調べて書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆^{つうはん}通販サイトを通じた少額輸入品が急増しています。検査が行き届かず、安全基準に満たない商品や模倣品が流れ込む懸念^{も ぼう}があり、対策が求められています。

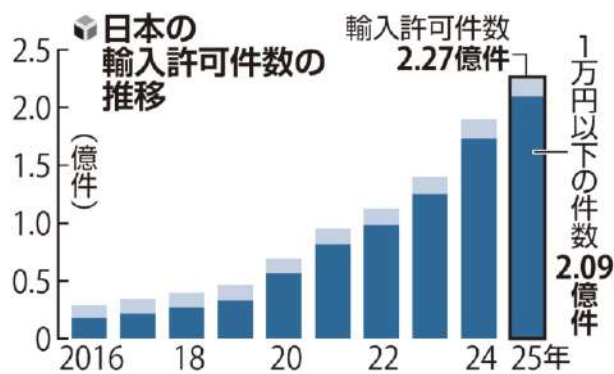
中国系など 通販 急増

政府は中国などのインターネット通販サイトの事業者に対し、販売情報の提供などを求めていく方針を固めた。若者を中心に中国系通販サイト「SHEIN（シーイン）」や「Temu（テム）」の人気が高まり、低価格商品の輸入は急増している。税関の検査が追いつかず、模倣品などの流入も確認されていることから、事業者側に対応を求めることで水際対策を強化する。

少額輸入 水際対策を強化

(2026年10月3日 読売新聞夕刊より)

コロナ前の5倍
年内にも財務省と事業者との協議会を設立する。事業者側は、シーインやテムの日本法人などの参加を想定している。協議会での議論を経て、来年夏までに販売情報の提供などに関する対応方針をまとめる。



り、シーインとテムのほか、韓国製商品を多数扱う「Q0010（キューテン）」の三つのサイトを通じた輸入品が6割超に上っている。税関の検査が追いつかず、中国系のサイトから違

中国の通販サイトは海外でも問題となっている。欧州の消費者団体は、出火の恐れがある充電器や有害物質を含むネックレスがあったと公表している。

欧州連合（EU）や英国では通販サイトの事業者らに対し、販売時に商品や取引のデータの提出を求める方針で、日本も諸外国と足並みをそろえたい考えだ。

法な商品が輸入されたケースもある。政府は水際対策の強化を掲げており、協議会を通じて事業者にも対応を求めることで不正商品の販売の予防などにつなげる。

【1】記事が例示している通販サイトの名前を挙げ、どのような点が問題視されているのか、説明しましょう。

【発展問題】少額輸入による通販が、低価格を実現できる仕組みを調べて、裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆ふるさと納税制度は、人口が少なく、税収が少ない自治体を財政的に支援し、地域の活性化につなげてもらうために始まりました。しかし、課題も指摘されています。

(2026年10月2日 読売新聞朝刊より)

制度の趣旨に合うよう改めよ

ふるさと納税

生まれ故郷や応援したい自治体に寄付してもらい、地域の活性化につなげることが、制度の趣旨だ。この原点を忘れてはならない。

総務省が1日から、ふるさと納税の寄付額のうち、自治体が寄付の募集にかける経費の上限を「50%」から「47・5%」に引き下げた。この後も段階的に減らし、2029年には「40%」とする。

自治体が自主財源に充てる額をより増やす仕組みに改めることは妥当と言える。

ふるさと納税の寄付額は右肩上がりに増えている。ただ、25年度の寄付総額1兆3314億円のうち、募集経費は6382億円に上

った。経費が占める割合は47・9%で、自治体の財源に回ったのは52・1%と半分にとどまった。

経費には返礼品の調達費や送料のほか、ふるさと納税の仲介サイトを運営する事業者への手数料が含まれる。自治体にとって、この手数料が重荷となっている。

ふるさと納税は、ほとんど全てが仲介サイト経由で行われているのが実情だ。各自治体が自力で多額の寄付を集めることは困難で、事業者が提示する手数料を受け入れざるを得ない状況にある。

25年度の場合、手数料はサイトを經由した寄付額の11・5%を占め、1490億円に達した。

総務省は、事業者側に手数料の引き下げを要請したが、「システ

ムの維持費がかかる」などと難色を示す声が相次ぎ、時期や料率を示して引き下げる方針を示したのは20社中1社しかなかった。

当時の総務相は「ほぼゼロ回答だ」と述べた。総務省は、手数料の上限設定も視野に改善策を検討している。事業者らと協議を重ねて着地点を探る必要がある。

「地場産品」と銘打つには疑わしい返礼品も目立つ。外国産の高級ワインを地元で熟成させたなどとして、複数の自治体が返礼品に加えている。

行き過ぎた商業化の弊害ではないか。総務省は、誰もが地元で作られたとわかるように基準を厳格化すべきだ。自治体にも良識ある対応が求められよう。

近年、災害の復興などに使うことを明示し、わずかな返礼品で寄付を募る自治体が増えた。移住体験など地域の魅力に触れる返礼品もある。自治体には豪勢さにとらわれず、知恵を絞ってほしい。

東京都などでは他の自治体に寄付する住民が増えて税収が流出し、行政サービスに支障が出かねない状況とされる。国はこうした声にも耳を傾けねばならない。

【1】ふるさと納税制度では現在、どんなことが課題となっているでしょうか。記事から読み取ってまとめましょう。

【発展問題】ふるさと納税を制度の趣旨にあったものにするために、国(総務省)や地方自治体はどうすべきでしょうか。あなたの考えを裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



猫ピッチャー
Neko Pitcher
(143) Kenji Sonishi

◆新しい球種「チェンジアップ」の練習を始めたミー太郎。コーチに教わった通りに投げてみると、ふわっとした直球になりました。

go that far

そこまでして。やりすぎる。

「I wouldn't」を前につけた「I wouldn't go that far.」は、「そこまでしない。」「それほどでもない。」という意味になります。

★こんな表現も使ってみよう★

- Not really
 - not so much
 - go too far
- それほどでもない 度が過ぎる

単語帳

grip: 握る slip: 滑る

★なぞってみよう★

go that far

Not really

感染症対策セミナー

オンライン同時配信

2026 10.27 火 参加費無料 17:00 開演

想定外の事態～生徒が集まる場所で出来る備えは？

第1部 17:00-17:30

基調講演

最新の感染症対策

毎年、感染症が流行する季節には全国の学校で学級閉鎖が多発し、先生方もその対策に頭を悩ませているかと思います。

感染症専門の医師に今年の感染状況や流行型の特徴、今後の予測をお話いただきます。

生徒が集まる場所で実践できる感染させない「予防」と、爆発的に増やさないための「対策」の両面から、ご提案します。



講演者
東京女子医科大学
医学部衛生学公衆衛生学
准教授 武藤 剛氏

感染症対策～実践編

第2部は実践編として、学校の先生、空気清浄機メーカーエアドッグご担当者と武藤先生をお招きして、学校現場の実践編をお送りします。学校内での具体的な取組、エアドッグの商品による実証データをもとに、校内の学習環境の維持や「換気」のテクニックについてご提案します。

パネリスト

武藤 剛氏

東京女子医科大学
医学部衛生学公衆衛生学 准教授

金子 暁 先生

広尾学園中学校・高等学校
副校長

吉川 純代 氏

株式会社エアドッグジャパン
取締役

お申し込みは
こちら！



19:00 スタート

参加費無料

参加された先生方をお招きした
懇親会を予定しています。

会場：KAITEKI CAFE
東京都千代田区大手町 1-6-1
大手町ビル1階

お問い合わせ

yomijuken@yomiuri.com

TEL:03-3216-8513

(平日9:30～17:30)

FAX:03-3216-4931

※メール・FAX でも受付可能です

セミナー参加登録



懇親会

【場所】読売新聞東京本社 新聞教室(千代田区大手町 1-7-1) およびオンライン (Teams) での開催
【交通】東京メトロ千代田線、丸ノ内線、東西線、半蔵門線、都営三田線 大手町駅 C3出口直結
【定員】60人(応募者多数の場合抽選となる場合がございます)
【主催】読売新聞東京本社メディア局事業部
【協賛】株式会社エアドッグジャパン